

# 産業界の先陣を切って連結納税システムを実現した「日立連結納税ソリューション」

## グローバルにビジネスを展開する総合化学メーカーが連結納税に対応

2002年7月、連結納税を規定した新法人税法が公布され、2002年度以降の事業年度からわが国でいよいよ連結納税制度がスタートしました。連結納税制度は、連結経営時代に応じたグループ・ガバナンスとグループ・マネジメントを支援する有効な手段として産業界からかねてより強く待ち望まれていた制度です。

国内トップの総合化学メーカーで、グローバルにビジネスを展開する三菱化学株式会社では、この連結納税制度を産業界の先陣を切って導入。システム構築にあたっては、日立製作所が自らの実体験に基

づいて構築した「日立連結納税ソリューション」を導入しています。

制度適用の検討からシステム構築までを短期間でMicrosoft® SQL Server上を実現し、期日どおり連結納税申告を完了しました。

日立連結納税ソリューションは、グローバルにビジネスを展開する三菱化学株式会社の国際競争力強化を側面からサポートするものとして、大いに期待されています。

柔軟な企業再編を可能にする連結納税制度

日立への信頼と先行者としてのノウハウを評価して導入を決定

Microsoft® SQL ServerとExcelの相性のよさがポイント

連結納税システムのモデルケースとして誇れる内容を実現

### Profile

#### 三菱化学株式会社

三菱化学株式会社は、1994年10月に三菱化成(株)と三菱油化(株)が対等合併して新発足した国内トップの総合化学メーカー。同社の淵源は1934年(昭和9年)、三菱鉱業(株)および旭硝子(株)の折半出資により設立された日本タール工業(株)に遡ります。三菱化学グループは、子会社330社、関連会社123社から構成され、総合化学メーカーとして世界に類を見ない多面的な事業を展開しています。2002年4月には、事業を石化、機能化学、機能材料、ヘルスケア、サービスの5つのセグメントに集約し、収益力向上と持続的成長のため、各セグメントの位置付けと方向性を定め、事業の選択と集中を徹底しています。

三菱化学

Good Chemistry  
for Tomorrow



経理グループ シニアマネージャー  
小久保 弘之氏

「導入から稼働まで期間が短く、私たちは本当に間に合うのか心配しましたが、その心配も日立さんの努力で杞憂に終わり、ほぼ予定どおりのスケジュールで連結納税システムを立ち上げることができました。これからも日立さんの提案を検討しながら、連結納税のモデルシステムとなるようなシステムに作りあげていきたいと考えています」

## 柔軟な企業再編を可能にする 連結納税制度

経済のグローバル化が急速な勢いで進む中で、企業はグローバルな枠組みのもとメガコンペティション時代を迎えています。

このような環境下を勝ち抜くには、市場の実態に応じて、事業の“選択と集中”をスピードをあげて遂行。自社の強みを発揮する分野に経営資源の配分を最適化し、企業組織の再編成を柔軟に行い、グループ全体の競争力を高める、連結経営時代に応じたグループ・ガバナンスとグループ・マネジメントが強く求められています。

このグループ・ガバナンスとグループ・マネジメントを支援する有効な手段が欧米では早くから導入されている連結納税制度です。

「連結納税制度導入の背景には、独占禁止法改正により純粋持株会社の設立が可能になったこと、さらに株式交換・移転や会社分割などにより企業グループの再編が行いやすくなったこと、また企業業績の開示を単独決算から連結重視へ移行したことがありますが、このような新会計基準や企業再編の動きに対応し、課税の中立性を保つうえからも連結納税制度が必要視されていました。もちろん、企業活動がグローバル化している現在、欧米で行われている連結納税制度を日本で行えないというのでは日本の企業の国際競争力が著しく低下します。このことから産業界ではかねてから連結納税の導入が求められていました」と、経理グループの小久保弘之のシニアマネージャーは連結納税制度導入の背景を語ります。さらに自社での導入の経緯を次のように説明します。

「当社は総合化学会社として、多岐にわたってグローバルに事業を展開しています。また、グループ内に多数の会社を有しており、昨年からセグメント経営ということでグループ経営の強化を図っております。この過程で数年前から連結納税制度の適用を検討していました。当初は連結納税制度の仕組みなどについては、さまざまな情報を得てある程度理解しておりましたが、昨年9月に日立の連結納税セミナーに出席することによって実際の計算の方法やデータ収集など具体的なイメージを掴むことができました。その後、日立さんが自社で開発されたシステムの話を知り、これはとてもシステムを導入しなければ申告書を作成できるような制度ではないという結論に達しました。その意味ではセミナーは非常に参考になりました」

連結納税制度は、企業グループに属する複数の会社の損益を通算して課税所得を計算する制度。

## 日立への信頼と先行者としての ノウハウを評価して導入を決定

三菱化学が連結納税制度の導入を決定したのは2002年8月。9月に日立のセミナーに参加し、その後、連結納税ソリューションの導入を決め、2002年度以降の決算期に合わせて極めて短期間でシステムを稼働させています。

「連結納税システムの構築にあたっては、システム自体が日本で初めてのケース。ハードとソフトも含めて今回はすべて日立さんにお任せするというスタイルでスタートしました。導入作業からシステム稼働まで、私たちとしては全幅の信頼のもとにお願いしましたが、大きな問題もなく本稼働を迎えることができました」と、導入支援を担当した(株)菱化システムの畑野高士氏と友野好幸氏は、声を揃えてこう語ります。

また、システムの運用を担当する経理グループの吉井哲也氏は、「連結納税はまったく新しい制度です。そこから派生する業務やデータがどういうものであるかについては私たち経理担当者にとっても初めての経験です。今回は日立さんが自社で導入したシステムをパッケージ化した連結納税ソリューションをベースにしており、いろいろな情報をいただきながらシステム構築の労力と時間を大幅に削減することができただけでなく、教育を含めて非常にきめ細かく対応していただきました」と導入サービスを高く評価します。

同様に小久保シニアマネージャーは、「マニュアルの作成であるとか、連結子会社のフォローなど、日立さんに協力いただいたことで、私たちが行う作業が軽減されました。さらに、スケジュールがタイトな中で期日どおりシステムを稼働することができ、非常に感謝しています」と表情を緩めます。

## Microsoft® SQL Serverと Excelの相性の良さがポイント

三菱化学株式会社の連結納税対象子会社は70数社におよびます。「連結納税の作業を行い、途中でいろいろな間違いに気がきますが、私が非常に驚いたのはとにかく計算が速いこと。計算のやり直しが何回でも行え、非常に助かりました。それと今回のシステムは、日立さん自身ユーザーであって開発会社であること。申告書の記入要領のフォローを含め、コンサルティング会社がパッケージ開発と一緒に携わっていて、さまざまな事柄がシステムに如実に反映されています」と、吉井氏はさらに次のように言葉を続けます。

経理グループ  
吉井 哲也氏

「最初、日立さんから連結納税ソリューションの話を知り、本当に大丈夫なのかなあ、というのが正直な感想でした。幸いに短期間でシステムを構築することができ、このシステムのお陰で何とか初年度の申告を乗り切ることができました。連結納税制度もスタートしたばかりで今後も税法の改正などによりシステムの仕様変更も考えられますが、今まで以上に、使いやすいバージョンアップを期待しています」





「連結納税対象子会社からはMicrosoft® Excelのワークシートで申告書作成に必要な情報を回収します。HA8000サーバではSQL Serverが稼働していますが、サーバとの連携でデータの受け渡しに関するトラブルは1回もありませんでした。その意味ではSQL Serverで構築された日立のアプリケーションとExcelとの相性の良さが多分にあると思います。また、入力に関しては、Excelがベースになっており、決められた手順どおりに入力していけば、自分の求めるものがすぐに得られます」と操作性の良さを挙げます。

「当社でもWindows®サーバを利用したさまざまなアプリケーションの開発・導入を手がけておりますが、今回導入したHA8000サーバおよび連結納税システムについても導入時はもとより、導入後の運用についてはトラブルの話は聞いておりません。そういう意味で、信頼性のあるハードウェアおよびアプリケーション構成であったと思っています」と畑野チームリーダーはこのように語ります。

### 連結納税システムのモデルケースとして誇れる内容を実現

連結納税制度は、制度開始から2年間は連結付加税が課税されるため導入を見合わせる企業も多いのですが、組織形態の相違による課税上の不均衡が是正され、国際的な水準に近づくことが予想されるため、今後、多くの企業で導入が活発化するものと思われます。

畑野チームリーダーは、「連結納税対象の子会社からデータ収集をするExcelのパッケージ部分について、Excelのバージョンの異なる各社で確実に稼働させるためにも、Excelのバージョンに依存するマクロプログラムなどを継続的にメンテナンスして提供していただくというような運用面でのバックアップに期待しています。また、今後XML対応などによりOffice系を含めたMicrosoft製品のバージョンアップがさらに加速していくと予想しています。その意味でもこのソリューションをSQL Server上に構築したのは正しい選択だと思っています。このシステムを継続的にブラッシュアップしていただき、提案・提供していただくことを併せて期待しております」と大きな期待を寄せます。

また、友野氏は、「システムが稼働を始めてから私たちはほとんどノータッチの状態で順調に運用されています。しかし、この秋にオフィスの移転があり、今後はシステムの導入支援、運用が私どもの重要な業務になります。その意味でもセキュリティ面を含めて運用、保守にいたるすべてに渡ってこれまで以上に連携を密にし



株式会社 菱化システム  
アプリケーションマネジメント本部  
ビジネスシステム1部 チームリーダー  
畑野 高士氏

「システムの導入は基本的に確実にできるのが当たり前です。その意味では確実なシステムを提供していただき、日立さんの技術力、指導力は実力どおりだと敬服しております。今後は、ユーザー同士の情報交換の場として、「日立連結納税ユーザー会」をぜひ一年後ぐらいにアレンジしていただきたいと思っています」

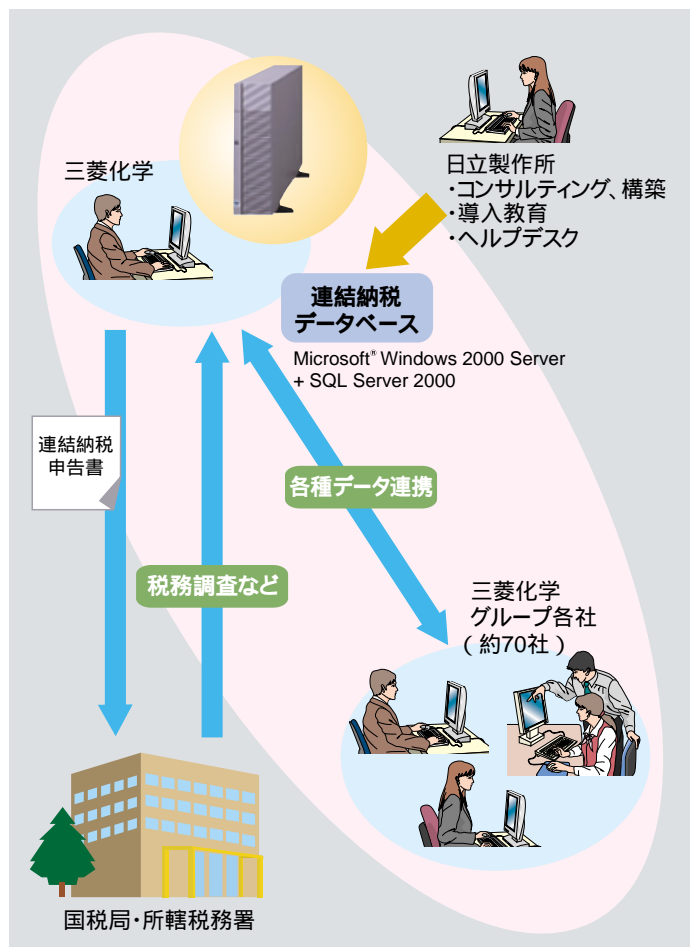
株式会社 菱化システム  
アプリケーションマネジメント本部  
ビジネスシステム1部  
友野 好幸氏



「今回のシステムについては私どもと日立のSEの緊密な連携のもと、日立さんにお任せというのが基本的なスタンスでした。スケジュール管理などの面で若干問題がありましたが、それを乗り越えてきちんと予定どおり完成させていただきました。今度はセキュリティの面を含めて、これまで以上に運用面をサポートしていただくようお願いいたします」

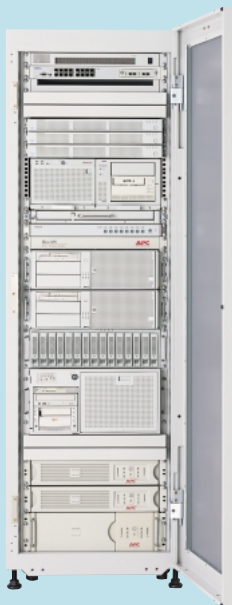
てバックアップしていただければと思っています」と語ります。

そして、最後に「私たちが今回、連結納税ソリューションを導入したのは、文字どおり日立さんのキャッチフレーズにある“日立が先に悩んでおきました”というフレーズに凝縮されています。今回は初年度の申告を無事にこなすということを目指して全精力を投入しましたが、日立さんのほうからもいろいろ改善提案が出てくると思います。私たちは、連結納税ソリューションのモデルケースとして、今後も誇れるシステムにさせていただくことを期待しています」と小久保シニアマネージャーは、今後に向けての取り組みを語ってくださいました。

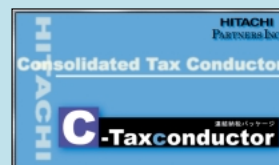
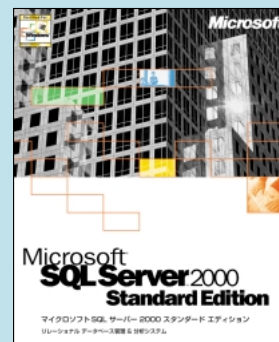


連結納税システムの運用概要

## HA8000



## 本システムで使用しているソフトウェア



日立連結納税ソリューション

**Microsoft**  
**GOLD CERTIFIED**  
*Partner*

日立製作所はマイクロソフト認定ゴールドパートナーです。

株式会社日立製作所とマイクロソフトコーポレーションは、広範囲な顧客企業のニーズへの対応を目的として、合併会社の設立を含む包括的な提携を行いました。この提携により、両者は、共同でマイクロソフトのMicrosoft® Windows® 2000をベースとした企業向けプラットフォーム(Microsoft® Windows® 2000、およびMicrosoft® SQL Server、Microsoft® Exchange Server、Microsoft® BizTalk Serverを含むWindows® 2000上で稼働するサーバ製品群とMicrosoft® COM + などを含むマイクロソフトテクノロジー)と日立が豊富な実績を持つ幅広いソリューションを統合し、あらゆる規模の顧客に対して、オープンシステムを通じ、新たなビジネスバリューを提供していきます。

- ・ Microsoft、Windows、Windows 2000は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Microsoft® SQL Serverは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- ・ その他記載の会社名、製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。
- ・ パッケージ写真の使用に際して、Microsoft Corporation発行のガイドラインに準拠しています。

### お問い合わせ先

## ◎ 株式会社 日立製作所

クロスマーケットソリューション事業部  
ビジネスソリューション統括部 連結納税担当  
〒140-8573 東京都品川区南大井六丁目  
26番2号(大森ベルポートB館)  
TEL/03-5471-2388(ダイヤルイン)  
mail: renketsu@itg.hitachi.co.jp

Windowsソリューションセンター  
〒212-8567  
川崎市幸区鹿島田890(日立システムプラザ新川崎)  
TEL / 044-549-1111(代)  
mail: win\_cstudy@ml.itg.hitachi.co.jp